

海外安全対策情報

1. 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

- (1) 今般、警察当局が発表した2022年度第2四半期(2022年7月～9月)の犯罪発生件数報告によれば、総犯罪件数は41,056件であり、前年度の第2四半期と比較して2.5%の増となっています。犯罪種別の内訳は以下のとおり。

殺人	148件(前年比0.7%減)
強盗	437件(同11.4%減)
強姦	94件(同15.3%減)
未成年への性的暴行	314件(同5.7%減)
麻薬関係	176件(同17.0%減)
暴行	11,045件(同6.7%減)
窃盗	15,744件(同15.1%増)
恐喝	5,225件(同8.6%減)
詐欺	4,027件(同16.3%増)
器物破損	2,776件(同0.5%増)
傷害	795件(同15.8%減)
不法侵入	275件(同19.6%減)
合計	41,056件(同2.5%増)

2021年度と比較し、全体的に犯罪件数は微増しています。また、今回の統計結果によると犯罪件数の合計が前年同期比2.5%増という結果となりました。項目毎にみれば、前年同期比で減少しているものが多いことが分かりますが、窃盗及び詐欺は今年1月から増加傾向にあると言えるため、特に注意が必要です。また、ガーナ国内の物価上昇及び通貨安(ガーナ・セディ)により経済状況が悪化しているため、今後、治安状況が悪化する可能性も十分に考えられますので、引き続き注意してください。

皆様におかれましては、外務省海外安全ホームページの「安全対策基礎データ」、「安全の手引き」を参考に防犯対策を徹底するとともに細心の注意を払ってください。

(2) 一般犯罪(邦人被害)

- ・9月23日(金)夕方、邦人が携帯電話を盗まれる被害が発生しました。

当該邦人がアクラ市エアポートレジデンシャルエリアにあるスーパーの駐車場で携帯電話を見ていたところ、2人乗りのバイクが後ろから近づいてきて携帯電話を奪われ、そのまま逃走したとのことです。

当該邦人に怪我等はありませんでした。

- ・11月13日(日)夜間、2名の邦人が手荷物を盗まれる被害が発生しました。

両邦人はイースタン州の食堂で深夜まで飲食した後、徒歩で自宅へ向かう途中、背後から2名の男性に話しかけられ、たすき掛けしていた鞆を掴まれそうになったため振り払ったところ、ナイフで切りつけられ指を負傷しました。さらに押されて道路の側溝に背中から転倒。気づいた時には手荷物を奪われており、2名の男性はそのまま逃走していったとのことです。

(3) 凶悪犯罪(外国人被害)

なし

2. テロ・爆弾事件発生状況

当国における該当事件の発生は確認されておりません。

3. 誘拐・脅迫事件発生状況

当国における外国人を対象とした該当事件の発生は確認されておりません。

4. 対日感情

対日感情は基本的に良好であり、特段の変化は見られません。

5. 日本企業の安全に係わる諸問題

当国において日系企業が脅迫、破壊行為等の被害を受けた報告はありません。

以上